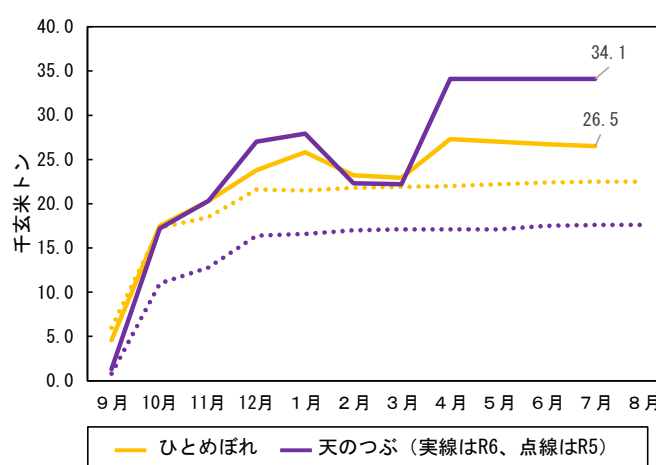
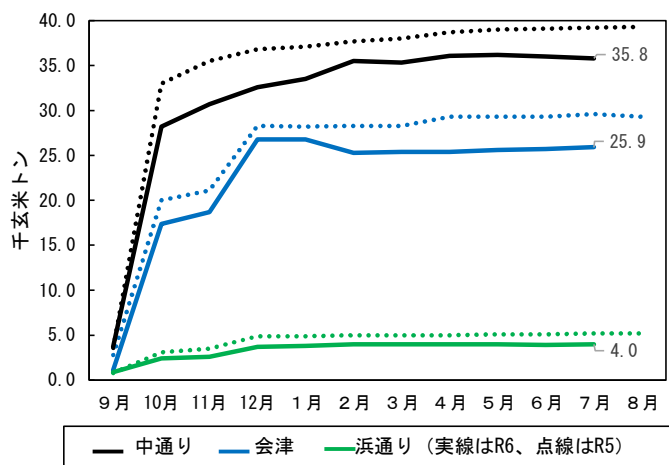
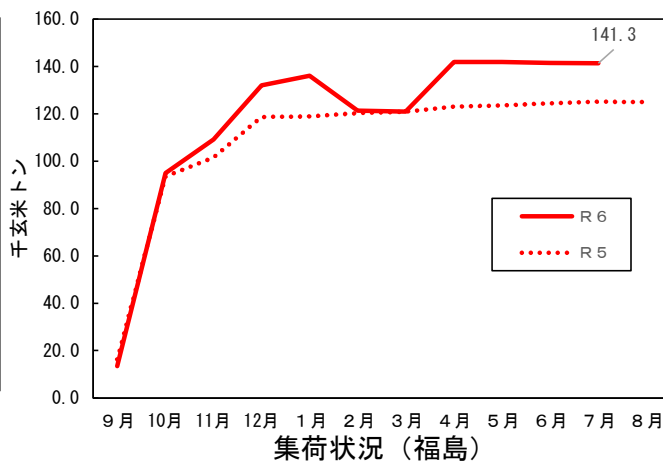
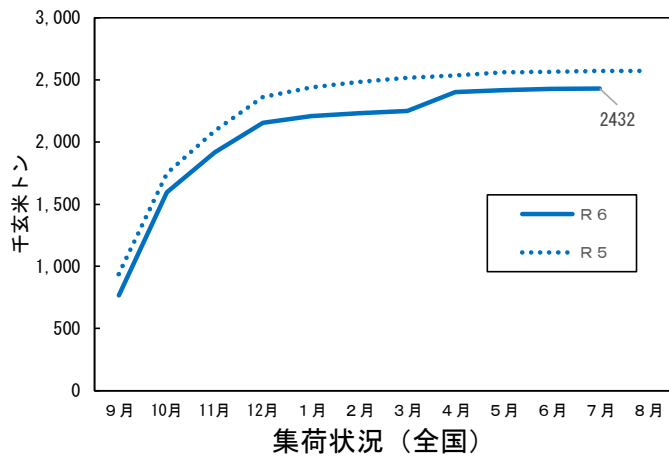


○集荷・契約・販売の状況

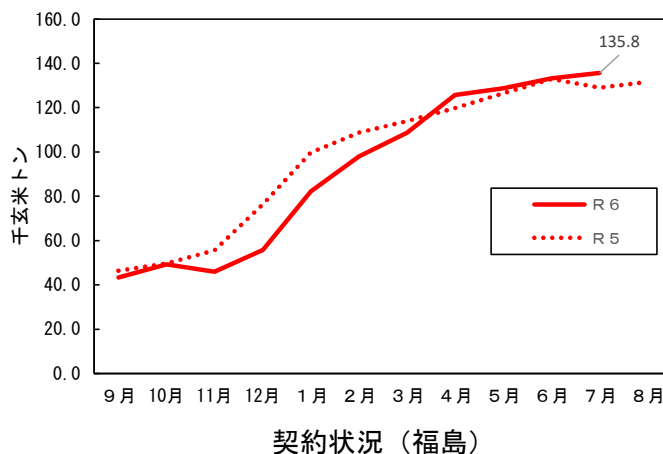
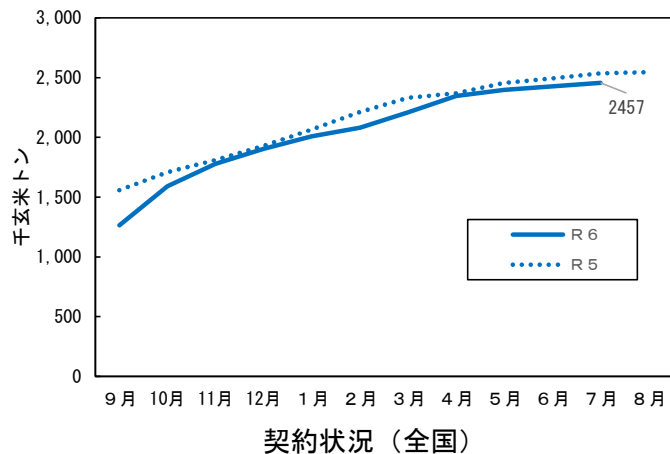
1 集荷状況

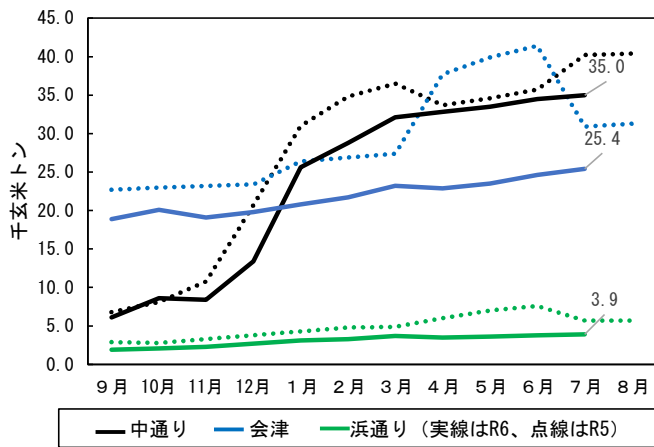
令和7年7月末時点の集荷状況は、全国では2,432千トンとなり、前年同月より141千トン少ない状況です。
一方、福島県においては、141.3千トンで前年同月比113%となっています。



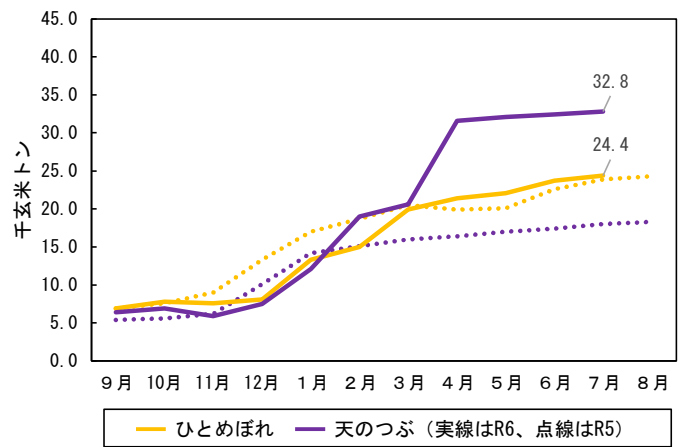
2 契約状況

令和7年7月末時点の契約状況は、全国では2,457千トンとなり、前年同月より79千トン少ない状況です。
福島県においては、135.8千トンと前年同月比105%となっています。





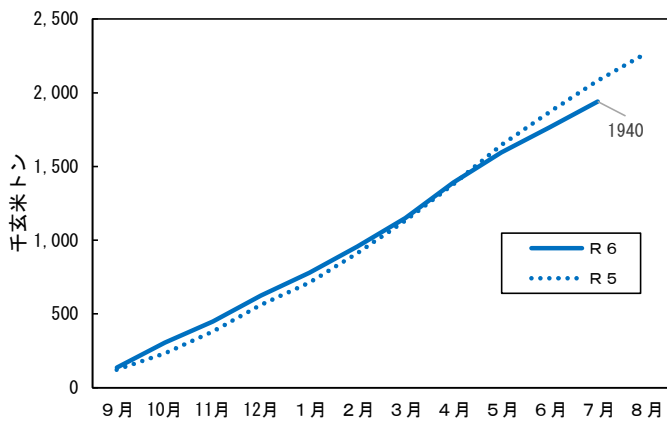
コシヒカリの契約状況



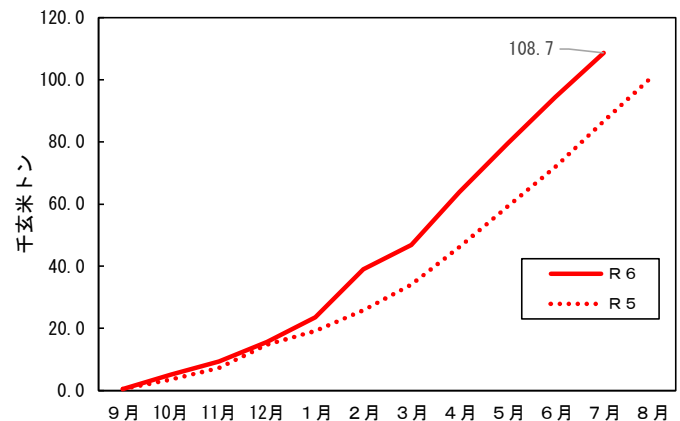
ひとめぼれ、天のつづの契約状況

3 販売状況

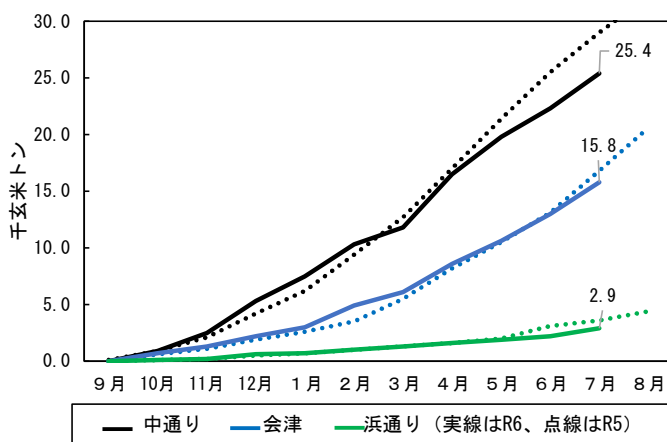
令和7年7月末時点の販売状況は、全国では1,940千トンとなり、前年同月より142千トン少ない状況です。
福島県においては、108.7千トンと前年同月比125%となっており、「天のつづ」「ひとめぼれ」で多くなっています。



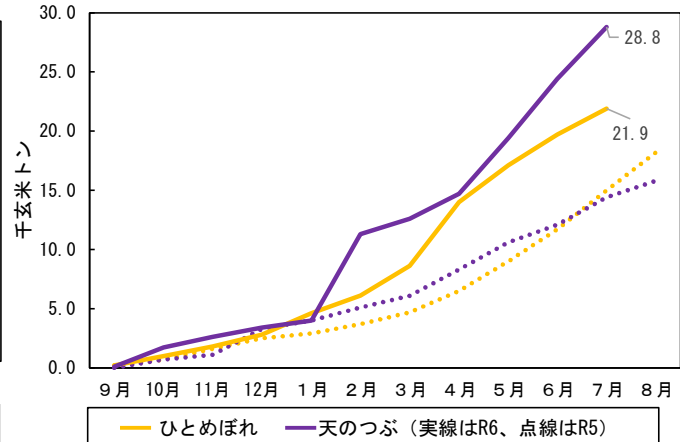
販売状況（全国）



販売状況（福島）



コシヒカリの販売状況



ひとめぼれ、天のつづの販売状況

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注1 報告対象事業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
- 2 報告対象米穀は、水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む）である。
- 3 集荷数量は、報告対象事業者が自ら販売するために集荷した数量である。
- 4 契約数量は、報告対象事業者が自ら販売するために契約を締結（確認書等により数量のみが決定した契約を含む）した数量である。
- 5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。
- 6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。
- 7 5年産について、更新月以前の全国データは確定値、それ以降の全国データ及び県銘柄データは前年公表の速報値を用いている。
- 8 売り渡した政府備蓄米の数量を含む。（なお、産地区分のない福島県産コシヒカリは「コシヒカリ（中通り）」に含めて集計している。）